

# 令和7年度 農林水産委員会 県内所管事務調査の概要

令和8年2月2日（月）

## ◆ 調査箇所：株式会社大分県畜産公社（豊後大野市犬飼町）

### 【概要】

株式会社大分県畜産公社は、牛と豚の処理ラインを完全分離した最新設備に加え、H A C C P（ハサップ）方式を導入した衛生管理を行うことで、国内外に安全・安心な食肉を提供している。

調査では現地施設を視察し、海外輸出の取組等について説明を受けた。



### <主な質疑等>

- ・牛と豚のと畜方法の違いについて
- ・EUのP P W R（包装・包装廃棄物規則）の影響について
- ・国内と国外の利益率の差について

## ◆ 調査箇所：大分県農林水産研究指導センター

### 【概要】

大分県農林水産研究指導センターは、県内農林水産業の発展を支える研究指導機関で、気候変動に対応した新品種の開発や、I C Tやロボット技術を活用したスマート農業の普及、病虫害対策などの研究を推進している。

調査では現地施設を視察し、試験研究の状況等について説明を受けた。



### <主な質疑等>

- ・かんしょウイルスフリー苗の育成方法について
- ・ベリーツを含めたいちごの育種目標について
- ・菌床しいたけの収穫適期について

## ◆ 調査箇所：大分県立農業大学校

### 【概要】

大分県立農業大学校は、農場での実践的な実習を重視し、最新のスマート農業から経営ノウハウまで幅広く教育を行うことで、次世代の農業経営者や技術者を育成している。

調査では現地施設を視察し、教育・研修の状況等について説明を受けた。



### <主な質疑等>

- ・農業機械研修で使用するトラクターの導入時期や導入金額について
- ・県内における長崎型いちごの高設栽培の割合について
- ・スマートフォンを活用したハウス内C O 2等のリモート制御について